

日露運輸作業部会 第6回次官級会合における、主な議論は下記の通り。

#### 1. 鉄道分野における協力

ヴォロネジ都市鉄道整備に向けた調査実施について、引き続き協力を進めていくことで一致しました。さらに、昨年実施したシベリア鉄道による貨物輸送パイロット事業の結果を共有するとともに、シベリア鉄道の更なる利用促進に向けて、引き続き両国で協力を進めていくことを、日露双方で確認しました。

#### 2. 極東港湾の高度化

ロシア極東港湾の高度化について、本年3月11日に行われた第4回日露港湾当局間会合での議論について確認するとともに、今後の更なる港湾プロジェクトの具体化に向けて、引き続き協力を進めていくことで一致しました。

#### 3. 航空分野における協力

昨年12月に株主間協定の締結が行われたハバロフスク国際空港新ターミナル建設・運営事業について、事業の具体化に向けて、引き続き日露双方で取り組んでいくことを確認しました。

#### 4. 船舶によるロシア産出の資源輸送

ロシア北極海域で採掘された天然資源の輸送をロシア籍船に限定する法律及び今後新たに検討されている規制について、我が国の懸念を伝え、我が国海運企業の参画に悪影響のないよう対応を要請しました。ロシア側からは本法律の趣旨等について説明があり、今後も必要な情報提供を行っていく用意がある旨回答がありました。